



みやざと ひろふみ
宮里 洋史 議員

◆民間開発のサポートを

問

町が認めてこの土地は都市マスタープランですでない、尚且つ地権者合意もとれない状況の企業に関しては、職員を張り付けて協力体制をとる等の政策を今後やっていく考えがあるか。

町長 ミニ開発、大規模開発、一定の要件はあるが、その要件を満たせば、民間で道路排水、公園等を整備しながら、そこに新たな宅地を形成していく。そのような形になれば行政としてもありがたく、そうであれば今後、十分内部で検討し、支援できるよう検討させていただきたい。

◆行財政改革の一手は

問

町民負担を求める時にお金がないは理由になっていない。優先順位が違うという話だと思う。給食費の無料化より校舎が壊れるのであればそちらの優先順位が高いと思う。町長は国保の赤字を言うが、赤字が終わってもまだ不安は残る。公共施設もある。

今の時点で財政の計画が立てられないではなく、立てないといけない。このままでは町民体育館も中央公民館も建て替えをしないという判断もではないか。その辺はどうか。

企画財政課長

町民の理解を

頂くことが第一義的だと考えております。5月の広報で厳しい財政状況をお知らせし、コミュニケーションもわかりやすく伝える努力をしていきたい。公共施設についても今は明言できないが、検討を進めているということでご理解いただきたい。

問

厳しい場面が出てくると思うがそれを知るのが半年前に知るのが、2年前から準備するのかわでは全然話が違ふと思う。町



東海岸の発展 (イメージ)

表紙の題字と写真を

お寄せ
ください



あなたの作品を
議会だよりに
掲載しませんか？

表紙の題字(『議会だより』の文字。横書き)と写真を募集しています。上手い下手は関係ありません。小学生から大人まで、いきいきとした題字と笑顔あふれる写真をお待ちしています。

送付先

議会事務局(担当:新川)

Tel. 945-5122

Fax. 945-5045

Mail: gikai_jimu@town.nishihara.okinawa.jp

題 字

制 作 者

議会だより
第77号

西原小学校3年
おや かわ
親川 ひよりさん

【ひとこと】

好きな教科は算数と体育です。

※本人の希望により顔写真は掲載していません。

町村議会正副議長・正副委員長研修会



講師の琉球大学名誉教授:石川友紀氏



講師の政治評論家:有馬晴美氏

沖縄県町村議会議長会主催による『町村議会正副議長・正副委員長研修会』が、7月24日に、北谷町のちゃたんニライセンターで開催され、本町議会からは4人が参加しました。

研修では2講演が催され、「沖縄移民100年の歴史」と題して琉球大学名誉教授の石川友紀(いしかわ・ともりの)氏が、日本の移民政策に伴う実情を、様々な資料を用いて話されました。

引き続き「舞台裏から見た政治とこれからの政局展望」と題して、政治評論家の有馬晴美(ありま・はるみ)氏が講演しました。現在の政権の中枢にいる政治家たちについて見聞きしたことを踏まえ、テレビ等のマスコミで話題となった事例を交えながら、今年の今後の政局の動きなどを予測されていました。

《新規条例》



議案第28号

「西原町特別会計繰出準備基金条例について」

上記議案は、総務財政常任委員会へ付託された議案で、6月14日に担当課長の出席を求め、慎重に審議を行いました。

【提案理由】

当該基金は、各特別会計で実施する事業費に対し、一時的に多額の費用の支出が見込まれる年度の予算編成に備えるために設置するもの。

【審査報告】

担当課長の説明を受けた後、質疑を行った。当該基金は、国民健康保険特別会計の累積赤字解消計画にて予定される法定外繰出金や土地区画整理事業特別会計等で実施する、西原西地区土地区画整理事業の進捗過程において、鉄塔移設費用(地区外)約1億円等、一時的に多額の費用の支出が見込まれることに備えるため、その資金を積立てることを目的としている。また、基金に積むことで、一時的な現金の運用も見込め、金融機関からの一時借入れの額を抑制し、その分の返済利息の圧縮もできる。

審議の中で、委員からは、①これまでの国保財政の状況を見ながら国保税の調整を行うべきであった、②国保が県単位化された今、標準額に速やかに引き上げ断固たる決意をもって、赤字解消に取り組むべき、との提言があった。

【審査結果】

全会一致で原案のとおり可決しました。